



## 革新的な形状が最適なスイングを作る「J-Grip」搭載

### 伝統の「虎印バット」、常識を覆す「レボルタイガー」を野球界に投入

#### バットと手が一体に。理想的な“握り”と“振り”を生み出す次世代バット

「虎印」タイガーブランド野球用品を製造販売する美津和タイガー株式会社（本社：大阪府堺市、代表取締役：深江豊治）は、持ち手部分に従来にない形状の革新的グリップを搭載した新概念の野球バット「レボルタイガー」を開発し、8月上旬より、全国のスポーツ量販店、野球用品専門店、大手通販サイトなどで販売を開始します。当初は硬式、中学硬式、一般軟式、少年軟式の規格に適合した金属製バットを揃え、打撃練習用木製硬式（竹）バットも発売します。価格は14,000円（少年軟式）～25,000円（硬式）。竹硬式は9,000円。いずれも希望小売価格で税別。



本製品が提案する「Jグリップ/J-Grip」（商標登録申請中）は、製品開発上、これまで着目されて来なかったグリップ部のハンドルとエンドノブの形状の革新により、従来にないフィット感と最適なバッティングを生み出します。

人間工学に基づく設計により開発されたJグリップは、従来の真円グリップとは異なる楕円構造の断面と、手首から小指にかけてのラインに沿う傾斜のついたグリップエンドを持ちます。これにより、①掌全体で握れてグリップとの接触面を最大化、これまでにない一体感と抜群のバットコントロールを可能にしました。②ヘッドが下がることなく一貫したスイング面を確保、ヘッドスピードを向上させます。③リストターンの際、手首に負荷をかけることなく、インパクトの瞬間に最大パワー発揮します。④自然に脇が締まり、適切な打撃フォームを形成。初心者から上級者まで、バッティングにおける基礎の習得と技術の向上に繋がります。また、⑤下手側の有鉤骨や尺骨神経周辺の損傷を防ぎ、安全・健全に練習を継続できる特性を備えています。



当初ラインアップを揃えた金属製バットでは、アルミ合金にスカンジウムを添加したスカンジウム合金を採用しています。スカンジウム合金は超軽量かつ高強度であるため、航空宇宙用部品などに使用され、近年では高機能素材として、自転車や野球バットなどのスポーツ用品にも採用が広がっています。今後はメイプル材など、木製バットのラインアップを拡充していきます。また、外観にはカラフルなデザインを施し、野球の楽しさに繋げていきます。

美津和タイガーは、斧の柄からヒントを得て開発された米Baden Sports社（本社：米国、CEO：Michael J. Schindler）のAXE Handle Batと出会い、その革新性に着目。いち早く同社の特許技術を導入し、日本の規格に適合した自社ブランドの新形バットとして本製品を開発し、国内で展開していきます。

Revolution+Tigerから命名されたレボルタイガー。常識を覆すJグリップの名のもと、単に当たる、飛ぶと唱えるバットと一線を画し、最適なスイングに導き、スイングの基礎および技術を磨くという、

かつてない概念での展開を積極的に推進していきます。

本製品は指導者たちにとって見逃すことのできないバットであるといえます。美津和タイガーは野球少年たちの夢の実現を支援していくことを通して、広く野球界に貢献していきたいと考えています。初年度 10,000 本の供給を目標に、早期にラインアップを拡充し、独自製品の開発にも取り組んでいきます。

## ■レボルタイガー 製品概要

●**製品名**：レボルタイガー／RevolTiger

●**販売開始**：8月上旬発売予定（7月25日より限定予約開始）

●**使用認可団体**（機構、連盟、協会）：日本野球機構（NPB）、日本野球連盟（社会人）、全日本大学野球連盟、日本高等学校野球連盟、日本学生野球協会、全日本軟式野球連盟、日本リトルシニア中学硬式野球協会、日本少年野球連盟（ボーイズリーグ）、全日本少年硬式野球連盟（ヤングリーグ）

●**ラインアップ**（当初発売モデル）

<金属製> 素材：本体-スカンジウム・アルミ合金  
グリップテープ-ウレタンラバー

カラー：ブラック／ブルー／レッド／イエロー

ブラックモデル

・硬式 長さ：82cm～84cm、打球部直径：66mm、本体色：ブラック、ロゴマーク色：ゴールド



・中学硬式 長さ：78,80,82,83,84cm、打球部直径：66mm、本体色：ブラック、ロゴマーク色：シルバー



・一般軟式 長さ：82cm～84cm、打球部直径：68mm、本体色：ブラック、ロゴマーク色：ゴールド



カラーモデル

・一般軟式 本体色：ブルー：長さ 83cm、レッド：長さ 84cm、イエロー：長さ 85cm

いずれも打球部直径：68mm、ロゴマーク色：ホワイト（イエローはブラック）

・少年軟式 本体色：ブルー：長さ 76cm、レッド：長さ 78cm、イエロー：長さ 80cm、

いずれも打球部直径：68mm、ロゴマーク色：ホワイト（イエローはブラック）



<木製>

・硬式木製（竹） 長さ：84cm、打球部直径：64mm、本体色：クリア（白木）

※竹製 M ブラック、M イエローを次期に投入予定



●**メーカー希望小売価格**（本体価格、税別）：

硬式・中学硬式：25,000 円、一般軟式：16,000 円、少年軟式：14,000 円、硬式木製（竹）：9,000 円

レボルタイガー専用サイト：<http://www.mitsuwa-tiger.com/RevolTiger/>

以上

## 【J グリップについて】

「J」の文字を想起させるグリップ形状からのネーミング。日本の、日本を代表するといった意味合いを含め、選手のレベル向上、野球人口やファン層の拡大に繋げる思いも込められています。

## 【AXE Handle に関する生体力学的実験】

UCLA の Vijay Gupta 博士が行った「グリップエンドの丸い従来型のバットとアックスハンドルバットとを比較した生体力学的研究」では、アックスハンドルバットが以下の優位点を持つと結論づけています。実験は大学 1 部リーグの代表選手がそれぞれのバットでスイングする動作を超高速度カメラで撮影した映像を分析することで行われました。

- 1) より快適である、2) グリップの運動学と握り部分の安定性向上によりパフォーマンスが上がる、3) 張力を抑えることで、両手からバットへ、より効率的に力が伝わる、4) より大きなスイング角度に力が加わることで、バットの回転速度が上がる、5) 指と掌の小指球部の間にグリップエンドを打ちつける振動の速度を抑えることで、バットコントロールを改善し痛みを軽減する、6) 小指球部からの局所的圧迫を除去することで、有鉤骨および尺骨神経の損傷とバットのすっぽ抜けを減らす。

## 【ミスター・タイガース 掛布雅之氏のコメント】

次世代のバットとして非常に面白いと思います。手首の可動域がすごく広く使える感じがしますね。ヘッドが立って、リストターンの際、グリップエンドが掌に当たることなく無理なく手首を返すことができる。レベルに振れてスムーズにヘッドが走るので打球が飛ぶことになる筈です。現役時代にこういう握りやすく振りやすいバットがあれば使っていたかも知れない。若い人達は自分に合うものをどんどん取り入れてそれぞれの野球に生かしてもらいたいですね。(談)

## 【Baden Sports, Inc.について】

Baden Sports Inc (本社：米国ワシントン州レントン市、CEO : Michael J. Schindler) は 1979 年設立のスポーツ用品メーカー。バスケット、サッカー、バレーボールなど各種競技のボールメーカーとして性能とデザインの両面で業界をリードしています。人間工学に基づく革新的な AXE Bat を開発し 2012 年 3 月より販売を開始。NCAA (全米大学体育協会) 加盟の有力 22 大学で使用され、少年、高校、大学野球を中心にこの 2 年間の販売は毎年倍増ペースを継続。

<http://www.badensports.com> <http://axebat.com>

## 【美津和タイガーと虎印野球用品について】

1947 年創業以来、使いやすさと機能性を追及した野球用品づくりを継続。物干し竿バット、W 圧縮バット、DD グローブなど多くの人気商品を生み出し、丁寧な職人技が作り出す品質と性能の高さから球史に残る名選手たちに支持されてきました。楯円のマークは「虎印」として親しまれ、全国の野球少年から憧れのブランドとして愛用されてきました。全盛期の 1985 年、事業拡大の失敗から倒産という事態を招いてしまいましたが、虎印野球用品を待つファンのため 1996 年に会社を再建、ネット通販により高品質な製品を届けてきました。野球専門店および、昨年末からは大手スポーツ量販店での取り扱いも再開して本格的な復活を遂げ、弛まぬ研究開発から生まれる伝統と革新を併せ持つ虎印ならではの製品群を、見て触れて購入できるようになっています。

## 【美津和タイガー株式会社 会社概要】

会社名：美津和タイガー株式会社

所在地：大阪府堺市堺区南旅籠町西2丁1-30

代表者：深江豊治（ふかえ とよはる）

資本金：1000万円

事業内容：虎印野球用品の製造、卸販売、直売

公認：プロ野球選手用バット公認、全日本軟式野球連盟公認、日本ソフトボール協会公認  
日本少年野球連盟公認、全日本少年硬式野球連盟公認

### 一般読者からのお問い合わせ先：

美津和タイガー株式会社

TEL：072-224-4371／FAX：072-224-4372／E-mail：info@mitsuwa-tiger.com

<http://www.mitsuwa-tiger.com>

### 報道関係のお問い合わせ先：

美津和タイガー広報事務局（株）アルサーブ内 担当：河端・川口

TEL：03-5297-8808／FAX：03-5297-8807／E-mail：tiger@alsarpp.co.jp